

【研究内容】

<p>【手立て①】 自分の感覚を十分に働かせるための、材料や用具と向き合う時間の設定と児童の気づきに共感する教師の働きかけ</p>	<p>【手立て②-1】 表したいことを見つけるための、「自己決定のきっかけづくり」</p>	<p>【手立て②-2】 自分の見方や感じ方を深めるための、「対話を生み出す」工夫</p>	<p>【手立て③】 つくりだす喜びを味わい、夢中になって活動する児童を育成するための、「語る」場の設定</p>
<p>① 材料や用具と向き合う時間の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料と十分関わる時間の設定（色や形、触り心地） 児童が見つけた造形的な表現方法を紹介する時間の設定 <p>② 発問や切り返しの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 実態把握の問い 価値づけ・意味づけするための問い 考えの明確化を図る問い 「思い」の誘発する問い <p>③ 児童の気づきに共感する教師の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 共感的な声かけ 児童の気づきを確かめ合う働きかけ つまずきや困り感を共有する教師見本の提示 	<p>① 授業導入の工夫</p> <p>○身近なものを見つめ直す活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象を大きくしたり、小さくしたりするICT 端末の活用 2枚の板紙をきっかけに、折ったり、切ったりできることを考える活動の設定 <p>○自分の感性と向き合う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 「普通の○○」と「へんてこな○○」を比較する時間の設定 色や形が豊富な鑑賞用の絵（抽象画）を示す資料提示の工夫 体全体を使って動作化する場面を設定 <p>② 自己決定を促す環境設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いに合わせて、描画材や材料を選択できる環境づくり 活動しながら、試行錯誤して創作できる環境づくり 新しい形を考えて思考錯誤する活動の設定。（材料の面白さが分かる時間の設定） 主題をもたせるための工夫（ワークシートの活用） アドバイスコーナーの設置 	<p>① 表したいことを見つけるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師や児童同士が対話する場面の設定 つぶやきが自然と聞こえてくる環境の設定 思いや意図を引き出せるような声掛け 感性や想像力を働かせる板書の工夫（やってみたいこと、想像できること） 教師が用意した作品の鑑賞 友達のイメージする形や線を見合ったりする時間の設定 <p>② どのように表すか考えるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然な対話が生まれる材料置き場の設定 さまざまな方向から見たり、鑑賞したりできる場の設定 作品を吊るす場（ツルース）を設定し、つくりながら見方を広げる環境づくり 新しく生み出した形を全体で共有する時間の設定 	<p>① 題材設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材名の工夫（造語（新たなものを創り出す）、ゴールの姿の連想、活動の見通し 等に関連する文言） 題材名の掲示の工夫 児童にとって一番身近な内容の設定 画用紙の工夫（オリジナルの色） <p>② 自分なりの意味や価値を見出すための工夫</p> <p>○形や色などとの関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 想像したものについて語らせる場面の設定 感じたことを言語化させる時間の設定 できた形からストーリーを考える活動の位置づけ 毎時間鑑賞の時間の設定（振り返りの時間、ICT 端末を活用した振り返りカード） <p>○他者との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に込められたストーリーを語る時間の設定 <p>○材料や環境との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ペープサートを活用し、楽しく「思い」を語る仕かけ

※ 3つの柱は、互いに影響し合い、厳密に分類できるものではありません。